

2021年 10月 15日

Year / Month / Day

2021年度共修プログラム実施プロジェクト企画申請書  
Planning Application Form for Co-Learning Program 2021

①国内向け情報発信を行うプロジェクト

The project that promotes attractiveness of international communication to Japanese, especially the students in Faculty of Science and Engineering

②海外向け情報発信を行うプロジェクト

The project that promotes attractiveness of ISTC, Doshisha and Japan to the world

**プロジェクトタイトル Project title**

**DOSHISHA U~ #GotU  
~Life Guide for International Students~**

タイトル説明：

共修プログラム（以下、本プログラムと呼ぶ）では、日本への留学を考えている大学生に対し、同志社大学（以下、本学と呼ぶ）は勉強・研究面ではもちろん、日本での生活をサポートする体制が整っていることを、Web コンテンツを通して発信していく。彼らは1人ではなく、支えてくれる仲間や先生方がいることを伝え、彼らが抱く留学前の不安を取り除くことが目標である。

**プロジェクトメンバー Project members**

Q&A 班

リーダー - James Edward Hernandez II

サブリーダー - 大塩蓮

デザイン担当 - 小川颯太

課題解決班 - Juntao Zhu

Arantxa Danielle Montallana

## 動画班

リーダー - 大村美咲

サブリーダー - 井芹翔貴

書記・会計 - 大西晴

ビデオ出演者 - Keith Nealson Penado,  
Allen Vincent Catapang

## **現状の課題 Current problem**

日本にいる留学生、また日本への留学経験者を対象としたアンケート調査によると、「日本語の勉強 (43.8%)」、「生活面での不安の解決 (39%)」といった2点を、留学生は不安に感じているという [1]。最も大きな課題は、教師や日本人の友人など、彼らが留学中に悩みを相談する先はあるのかと不安を抱かせてしまうことである [1]。

こうした問題に対し、多数の団体もしくは大学が解決策を講じている。しかし、本学に関しては、ISTCコースという英語のみで授業を受けられる制度や、他にも留学生を受け入れる体制が整っているのにも関わらず、留学生にはおろか、日本人在学生にさえそれらの情報を知られていないのが実態である。

留学生に本学が留学先として選んでもらえるよう、本学での生活についての正確でわかりやすい情報を、この京田辺の地から発信していくことで、現状の課題の解決を目指す。

[1] “外国人留学生の進路決定行動に関するアンケート調査”

<https://www.access->

[t.co.jp/files/2018E5B9B412E69C88\\_E79599E5ADA6E7949FE8AABFE69FBB\\_.pdf](https://www.access-t.co.jp/files/2018E5B9B412E69C88_E79599E5ADA6E7949FE8AABFE69FBB_.pdf)

## **課題を解決するためには In order to solve the problem**

日本への留学生だけでなく、留学を考えている多くの学生がどのような関心、興味、不安を持っているのかについての情報を集める。これらを類似項目ごとに分類し、SWOT分析により明らかにした本学の長所や強みによって、彼らの不安を解決できないか考える。

解決策として、本学に在籍している留学生の日常生活（授業、買い物、バイトなど）をWebコンテンツとして発信する。その際、本学ならではの魅力やこの京田辺の地でしか経験でき

ないことも含めて発信することで、本学の魅力をアピールする。

## 企画のコンセプト/コンセプトワード **Project concept/ Concept word**

**Through showing people what we do, we show that Doshisha U Got U.**

(DOSHISHA U got U とは、同志社に留学する留学生に対して、不安にならないで、私たちがあなたをサポートするよと伝えたいという思いから、「U got U」を制定した。)

## プロジェクトの内容と実施方法 **Implementation method of the project**

多くの留学生が抱く不安に対し、本プログラムメンバーが回答するコンテンツを作成し、既存の共修プログラムホームページ上に掲載する。コンテンツとは、Q&A形式で質問・疑問に回答するものと、本学での留学生の1日を紹介する動画である。今後の活動をより効率的かつ円滑に行うために、Q&A班と動画班にメンバーを分ける。

### ・全体

外務省のガイドブックや信頼できるオンラインサイト[1]を参照し、日本における日常生活や大学での勉強、また就職活動など、留学生が興味・関心を抱きがちなる事柄を調べる。また、ガイドブック[2]などの調査の全結果から類似点を分類し、留学前に不安に感じることや知りたいことは何かについて調べる。

上記の事柄に対し、本学の留学制度、とりわけ京田辺キャンパスの理工学部には、留学生が日本語能力を向上させる機会や、英語で学習・研究できるISTCコースがあることをアピールする。その際、似ている不安に関連する制度/施設が多すぎる場合は、目標達成に最も適しており、かつ実行可能なものを選ぶ。

### ・Q&A

Q&A班では、日本人メンバーからの意見、また本プログラムに参加している留学生の意見をもとに、本学理工学部で留学する際に抱き得る不安や疑問について Question を作成し、それらに対する Answer、すなわち解決策をチームで考える。これらをポスターにしてまとめるが、いくつかのカテゴリーに分けることを意識する。例えば、カテゴリー：言語

などのように大まかに分けることで、閲覧者が知りたい情報を素早く見つけられるようにする。

こうして作成したポスターを、ISTC サイトと共修プログラムのホームページに掲載し世界中に発信する。このポスター制作については、内容・デザイン構成などはすべてメンバーが担う。

**また、紙媒体のパンフレットも500部作成し、本学の留学生課などに設置することにより更なる効果向上を目指す。**このパンフレットは、ポスターが原本となる。作成に関しては、外部に委託する。

#### ・動画

動画では、『同志社京田辺キャンパスでの留学生の生活』を紹介する。動画は2本作成し、どちらも3分の予定である。構成は以下の通りとする。

1 本目：本学理工学部博士課程（後期）の学生生活

Keith もしくは Allen が出演

2 本目：本学理工学部学部生の学生生活

出演者は本学理工学部に留学中の学部生に依頼する

内容・構成の考案、撮影はメンバーで行う。動画編集は外部に委託する。完成した動画はQ&A と同様、本プログラムのホームページに掲載し、世界中に発信する。

[2] “生活仕事ガイドブック” <https://www.moj.go.jp/isa/content/930004643.pdf>

#### 期待できる成果 Expected results

留学したいと思う学生は多種多様な不安を抱えているはずである。具体的には日常生活や大学生活などである。その不安に対し説明だけに終始するよりも、映像を配信することで、本学でのリアルな留学生生活を伝えることができる。また、同時にQ&Aのポスター、パンフレットを作成することで、細かな疑問や不安に焦点を当てて対応することができる。これらのコンテンツを視聴することで、留学前の学生が本学での学生生活をより鮮明にイメージできるようになり、留学意欲の増大が期待される。

これらがきっかけとなり留学を決意し、実際に本学に留学する学生が出てくれば、彼らに倣って留学を視野に入れる学生の数も増えてくるだろう。このサイクルが続くと、本学へ留学することの敷居が低くなり、留学生数の増加も最終的な効果として期待できる。

必要経費 Necessary expenses			
支出項目 Expenditure Items	単価 (円) Unit Price	数量 Quantity	小計 (円) Amount
動画制作費	97,500	2	195,000
パンフレット	200	500	110,000
合計 Total			305,000

プロジェクト実施スケジュール (企画、実施、報告) Schedule for carrying out the project  
(Plan, Carrying out, Report)

2021年

- ・10月15日 企画書提出  
プレゼンテーション準備開始
- ・10月29日 企画プレゼンテーション
- ・11月上旬 企業アポイント実施とデザイン作成 動画の撮影
- ・12月中旬 中間報告会

2022年

- ・2月上旬 完成 共修プログラムホームページにて公開  
最終報告書提出
- ・3月 最終報告会

その他留意する事項 Other points of concern

- ・本プログラムに関係のない人を許可なしに撮影しないように注意する。
- ・特定の施設を撮影する場合は許可をとってから行う。
- ・SNS上での不要な発信や発言は控える。